

東京電力福島第一原子力発電所事故に関する当社の対応について No.1

日本全薬工業株式会社
品質管理部長 鈴木和彦

現在、弊社では郡山工場の出荷製品につきまして以下の取り組みを行っておりますので、お知らせいたします。

- ・ 郡山物流センターから出庫する製品の放射性物質汚染に対する対応
出庫製品は出荷日に任意に選択した6製品についてGMサーベイメータで表面放射線量を測定しています。現在、工業製品に対する公的な基準値は示されておきませんが、今後も環境中放射線量並びに製品表面の放射線量を日々モニターしてまいります。
- ・ 製造用水の原子力発電所事故に起因する放射性物質汚染の対応
郡山工場で製造する補液剤等の製品は製造用水として市水から精製水を、さらに精製水から蒸留水を作製し使用していますが、これらは毎日スペクトロメータでヨウ素131とセシウム134、137を測定し、不検出であることを確認しています。また、比較のため定期的に外部検査機関へ測定依頼しておりますが、いずれも不検出との結果を得ており、今後も継続していきます。

〔測定例〕

製造用水放射能濃度(単位:Bq/kg)

測定日時	市水			精製水		
	Cs134	Cs137	I131	Cs134	Cs137	I131
7月13日(水)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7月14日(木)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7月15日(金)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7月16日(土)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7月17日(日)	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定機器: CAPRAC-t型 ウェルカウンタ 検出限界: 全核種 10Bq/Kg以下(ND:不検出)

- ・ 製品中の原子力発電所事故に起因する放射性物質汚染の対応
取り扱い製品を含むすべての製品の内容物について放射性物質濃度を測定することは困難ですが、主要な注射剤及び粉剤については放射性物質(ヨウ素131とセシウム134、137)濃度を自社で測定するとともに、外部の専門機関へ定期的に依頼し、不検出であることを確認しており、今後も継続していきます。

〔測定例〕

製品放射能濃度(単位:Bq/kg)

製品名	製造番号	測定日時	Cs134	Cs137	I131
ホロカール	107030	7月6日	ND	ND	ND
マグコゾール	107060	7月6日	ND	ND	ND
高張食塩V注射液	107070	7月8日	ND	ND	ND
ビタミンB1加ブドウ糖V注射液25%	107130	7月13日	ND	ND	ND
ピタラップAEd	107130	7月13日	ND	ND	ND

測定機器: CAPRAC-t型 ウェルカウンタ 検出限界: 全核種 10Bq/Kg以下(ND:不検出)

弊社ではお客様に安心して弊社製品をご使用いただけるよう継続して製品の放射線量並びに放射性物質濃度をモニタリングしていくと共に、全社員一丸となり「人の命と同様に動物の命を守る」という使命感のもと活動してまいります。